

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）			
フリガナ）	オウビリンダイガク	フリガナ）リベラルアーツガク	フリガナ）フジタ ミニルゼミナール
桜美林大学		リベラルアーツ学群	藤田 実ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ヤマダゼミエーチーム	フリガナ）シゲイズミ ユキ	4	無
山田ゼミAチーム	茂泉 有紀		

研究テーマ（発表タイトル）
学生の力を被災地のもとへ

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

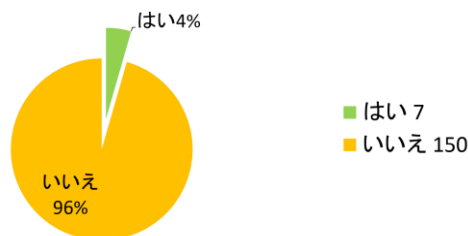
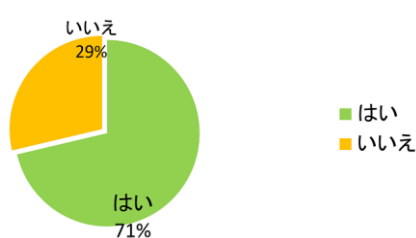
1. 研究概要（目的・狙いなど）

熊本地震の際にボランティアに行きたかったが行けなかったという自分たちの経験がある。その経験から災害大国である日本で学生のボランティアを被災地のニーズに応じた人数、現地に送り出すことができるような仕組みを作る。

そして、学生の力を被災地の復興のために発揮できるようにする。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

独自アンケートの結果、熊本地震の際、災害ボランティアに参加したいと思ったという学生が約 7 割居たにもかかわらず、実際にボランティアに行った学生は 4%しかいなかった。その原因として、資金不足や自分が行っても迷惑になると思ったなどの声が聞こえた。桜美林大学のボランティアセンターに取材した結果、ボランティア団体でも資金の安定的な確保や、ボランティアの質の悪さなどが問題点として浮き上がった。



桜美林大学藤田ゼミナール
学生ボランティアに関する意識調査独自アンケート

3. 研究テーマの課題

調査から、資金不足とボランティア教育の不十分さが課題として挙げられた。

資金不足については過大な金銭負担を学生にかけることなく、現地に送り出す新しい仕組みが必要である。また、教育面に関しては、ボランティアマインドだけでなく専門的な技術、知識を持った学生を派遣できるような新しい教育の仕組みが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

近畿大学が2016年3月に取り入れたプリペイド機能付き学生証を応用した新・学生証を発行。学生が、学内サービス（コンビニエンスストア、カフェ）や生協で買い物をした際に、ボランティアポイントがつき、そのポイントは自動的に教員と学生が主体のボランティア団体の資金として活用される。

この団体は大学と協力してボランティアのプロフェッショナルを育成するための講習会や授業を行う。そして、専門家から教育を受けた専門的な技術、知識を持った学生を育成する。

災害が起こった際は技術、知識を持った学生がボランティアに行く際に先ほどの資金で交通費などを援助する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

学内学生向けにグーグルフォームを利用してボランティアに関する意識調査のアンケート、

桜美林大学インタビュー

ボランティア団体関係者インタビュー

三井住友カード会社インタビュー

学内サービス会社株式会社ナルドインタビュー

熊本県ボランティアセンターインタビュー

6. 結果や今後の取り組み

このプロジェクトに携わる大学（桜美林大学）・カード会社（三井住友カード株式会社）・学内サービス会社（株式会社ナルド）・学内ボランティアセンター（SLC）からこのプランについて前向きな返答をいただき、実際に実現可能であり、有効なプランであることが証明された。

今後の展望としては、近隣の大学のボランティア団体と協力し、エリアごとで連携した活動ができるようにしていく。これを全国に広めていくことで、将来的にどの地方で災害が起こっても、被災地に近いエリアの学生が即座に対応することができるようになる。また、エリアで連携した活動ができるようになり次第、互いの情報共有のための総会や、ボランティアの体験談などを話す講演会などを開催し連携をより一層強めていく。

7. 参考文献

株式会社ナルドHP <http://www.narudo.co.jp>

三井住友カード株式会社 <http://www.smbc-card.com>

近畿大学 <http://www.kindai.ac.jp/sp/>

桜美林大学 <http://www.obirin.ac.jp>

朝日新聞 2016年5月9日朝刊1面 東京本社

2016年4月29日 ライブドア <http://news.livedoor.com>

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。